

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【公開番号】特開 2014-118760 (P2014-118760A)  
 【公開日】平成 26 年 6 月 30 日 (2014.6.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-034  
 【出願番号】特願 2012-275319 (P2012-275319)  
 【国際特許分類】

E 0 2 F 9/28 (2006.01)

【 F I 】

E 0 2 F 9/28 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アダプタに取り付けられる掘削ツールであって、  
基端面を有し、第 1 方向に延びるツール本体と、  
 前記ツール本体の前記基端面に形成され、前記アダプタを挿入するための挿入孔と、  
 前記挿入孔の最深部から突出する一対の支持部と、  
 を備え、  
 前記挿入孔は、前記一対の支持部の間に形成される凹部と、前記一対の支持部の両側に  
形成され、前記第 1 方向に延在する一対の延在孔とを有する、  
 掘削ツール。

【請求項 2】

前記第 1 方向と直交する第 2 方向に沿って前記ツール本体を貫通し、前記挿入孔に繋がる一対の軸孔を備え、  
 前記一対の軸孔の中心を通り前記第 1 方向及び前記第 2 方向に平行な断面において、前記一対の軸孔の中央に位置する基準点と前記凹部の最深部との間隔は、前記基準点と前記挿入孔の最深部との間隔よりも大きい、  
 請求項 1 に記載の掘削ツール。

【請求項 3】

前記一対の延在孔は、前記凹部より浅くかつ狭い、  
 請求項 1 に記載の掘削ツール。

【請求項 4】

前記一対の支持部は、前記挿入孔に挿入された前記アダプタの先端部と所定間隔を隔てて対向する、  
請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の掘削ツール。

【請求項 5】

前記ツール本体は、前記基端面から突出する凸部を有する、  
 請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の掘削ツール。

【請求項 6】

掘削具本体と、  
 第 1 方向に延びるツール本体と、前記ツール本体の基端面に形成される挿入孔と、前記

挿入孔の最深部から突出する支持部と、を有する掘削ツールと、

前記掘削具本体に固定される固定部と、前記挿入孔に挿入される挿入部と、を有するアダプタと、

を備え、

前記支持部は、前記挿入部の先端と前記第 1 方向において所定間隔を隔てて対向する、掘削具。

【請求項 7】

前記掘削ツールは、前記第 1 方向と直交する第 2 方向に沿って前記ツール本体を貫通し、前記挿入孔に繋がる一对の軸孔を有し、

前記一对の軸孔の中心を通り前記第 1 方向及び前記第 2 方向に平行な断面において、前記第 2 方向における前記挿入部と前記支持部との間隔は、前記第 2 方向における前記一对の軸孔の中心と前記支持部との間隔の 5 % 以下である、

請求項 6 に記載の掘削具。

【請求項 8】

前記ツール本体は、前記基端面から突出する凸部を含み、

前記固定部は、前記凸部が嵌合される凹部を含む、

請求項 6 又は 7 に記載の掘削具。